

みずほCustomer Desk Report 2025/02/26 号(As of 2025/02/25)

金融市場部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】				公示仲値	150.24
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	149.92	1.0463	156.93	1.2619	0.6339
SYD-NY High	150.30	1.0519	157.30	1.2677	0.6356
SYD-NY Low	148.56	1.0456	156.11	1.2607	0.6323
NY 5:00 PM	149.02	1.0514	156.70	1.2666	0.6344
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	43,621.16	▲159.95	日本2年債	0.7900%	▲0.0200%
NASDAQ	19,026.39	▲260.54	日本10年債	1.3800%	▲0.0400%
S&P	5,955.25	▲28.00	米国2年債	4.0983%	▲0.0721%
日経平均	38,237.79	▲539.15	米国5年債	4.1300%	▲0.1044%
TOPIX	2,724.70	▲11.83	米国10年債	4.2974%	▲0.1020%
シカゴ日経先物	37,975.00	▲65.00	独10年債	2.4510%	▲0.0185%
ロンドンFT	8,668.67	9.69	英10年債	4.5090%	▲0.0550%
DAX	22,410.27	▲15.66	豪10年債	4.4080%	▲0.0460%
ハンセン指数	23,034.02	▲307.59	USDJPY 1M Vol	10.94%	0.17%
上海総合	3,346.04	▲26.99	USDJPY 3M Vol	10.58%	0.10%
NY金	2,918.80	▲44.40	USDJPY 6M Vol	10.22%	0.04%
WTI	68.93	▲1.77	USDJPY 1M 25RR	▲1.63%	Yen Call Over
CRB指数	306.50	▲1.95	EURJPY 3M Vol	10.85%	0.10%
ドルインデックス	106.31	▲0.29	EURJPY 6M Vol	10.56%	▲0.05%

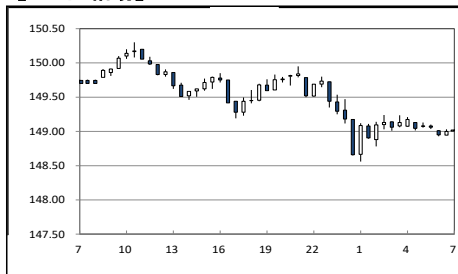
【昨日の指標等】

Date	Time	独	GDP(前期比)・確報	4Q	結果	予想
2月25日	16:00	独	GDP(前期比)・確報	4Q	-0.20%	-0.20%
2月26日	00:00	米	コンファレンスボード消費者信頼感	2月	98.3	102.5
	00:00	米	リッチモンド連銀製造業指数	2月	6	-3

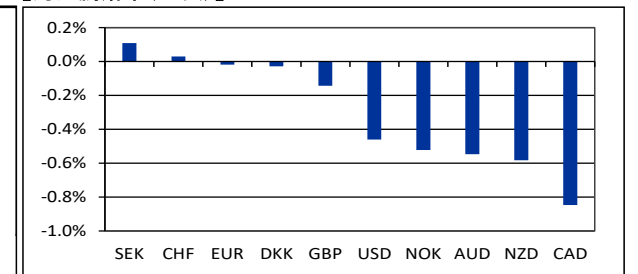
【本日の予定】

Date	Time	豪	CPI(前年比)	1月	予想	前回
2月26日	09:30	豪	CPI(前年比)	1月	2.6%	2.5%
2月27日	00:00	米	新築住宅販売件数	1月	680k	698k

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	148.00-149.50	1.0430-1.0580	156.00-157.70

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は下落。米コンファレンスボード消費者信頼感が昨年6月以来の低水準となったことや、トランプ米政権が半導体規制の厳格化を計画していることが明らかになったことを受けて、一時149円台後半から148円台後半まで売られた。先週末から一連の米経済指標が消費者センチメントの悪化を示したことで、米景気に対する先行き不安が高まっている。これを受けて、市場は再びFRBによる年内2回の利下げを織り込み始めたことや、米株式が軟調に推移していること等から、ドル円は引き続き上値重い展開が予想される。

東京	日本祝日明けのドル円は朝方から買い優勢で始まり、前日の高値を上回る149.92レベルでオープン。本邦輸入企業のフローが集中しやすい25日であったことから、仲値決済に向けて買われ150.30をつけた。その後は日銀が利上げのペースを半年に1度にこだわらず、柔軟に判断するとの報道もあり、円買い優勢に転じ149.79レベルで海外へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、149.79レベルでオープン。スワップ市場にて米金利の利下げ年2回が織り込まれていく中、米10年債利回りは低下した。ドル円は方向感なく上下に推移し結局149.69レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は149円台後半でスタート。米関税政策や、ロシアとウクライナの停戦案の先行きが依然不透明な事を背景に、市場全体がリスクオフモードの中、米金利の低下等が重しとなり、上値重い推移が続く。149.69レベルでNYオープン。午前中に発表された米2月コンファレンスボード消費者信頼感指数が予想を下回った事を受け、発表後はドル売りが優勢となり、148.56まで下落。その後は下げ渋り、149.20付近まで戻す。午後は堅調な米5年債の入札結果が上値を抑え、終盤にかけては149円ちょうど付近まで反落し、149.02レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.04円台後半でスタート。独第4四半期GDP(確報値)が発表されるも、予想通りの結果だったためか、ユーロドルは反応薄。その後は米金利の低下に伴ったドル売りが支えとなり、じり高で推移し、1.0495レベルでNYオープン。午前中は先述の予想を下回った米経済指標の結果を受け、1.0519まで上昇する場面もあったが、その後は独金利の低下が上値を抑え、1.0484まで反落。午後は堅調な米5年債の入札結果に伴ったドル売りをを受け、日中高値付近まで再度値を戻し、1.0514レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。